

決算特別委員会

◎ 開催日時 令和6年10月23日（水）9時58分～16時01分

◎ 開催場所 議員室

◎ 説明員 小林知事公室長、山田健康医療福祉部長、波多野土木交通部長、正木病院事業庁長、池内警察本部長および関係職員

◎ 議事の概要

1 議第152号、議第155号、報第9号、報第12号および報第13号について（部局ごとの審査）

【健康医療福祉部、病院事業庁所管分】

委員からは、医師確保総合対策事業および看護職員確保対策事業について、現場では人員不足による困難な状況が続いているため、他の自治体や近年の物価の状況等も踏まえ、修学資金の貸与制度等を再検討するとともに、滋賀県で長期間勤めてもらえるよう働きやすい職場環境を整備するなどの配慮をされたい、病院事業について、適切な医療を提供するに際しても予算には限りがあり、病院としての収支を改善する必要もあることから、各診療科単位での収支を明示するなど、現場の職員にもコスト意識を持ってもらうことが重要ではないか、などの意見が出された。

【警察本部所管分】

委員からは、特殊詐欺について、いわゆる闇バイトの加害者や被害者が低年齢化していることから、子供たちが犯罪の加害者にも被害者にもならないように、県や市町の教育委員会とより一層連携して、その防止に取り組まれない、警察車両の更新について、更新の目安を超過している車両が多数存在していることから、耐用年数や走行距離等の適切な管理に努めるとともに、計画的な車両更新に取り組まれない、などの意見が出された。

【知事公室所管分】

委員からは、「生活防災」の実践促進および逃げ遅れゼロ実現事業について、マイ・タイムラインの作成支援講座が地域で開催されることは意義があるが、現場を持つ市町が主体となって実施される方が効果的と考えられるため、県と市町との役割分担を検討されたい、びわ湖放送への出資について、特殊詐欺被害を未然に防止するための番組づくりなど、最大株主でもある県として県民を守るための要望を伝えられたい、などの意見が出された。

【土木交通部所管分】

河川愛護活動について、高齢化により継続できないところに対して、県が条件の見直しを図っても、市町との連携不足から、その見直しが進んでいない事例もあるため、県域全体で実施できるように、市町と連携して取り組まれない、鉄道駅のバリアフリ

一化について、滋賀県は障害者スポーツ大会で障害者の社会参画を促進していく立場であるため、特に近江塩津駅のような、乗降客数は少ないものの乗り換えにおいて利用が大変困難な駅の整備が図られるよう、新たなスキームの提案を検討されたい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 部局別資料(健康医療福祉部)
- 2 主要施策の成果に関する説明書(健康医療福祉部)
- 3 随意契約締結結果(健康医療福祉部)
- 4 部局別資料(病院事業会計決算)
- 5 随意・長期継続契約締結結果(病院事業庁)
- 6 部局別資料(警察本部)
- 7 主要施策の成果に関する説明書(警察本部)
- 8 随意・長期継続契約締結結果(警察本部)
- 9 部局別資料(知事公室)
- 10 主要施策の成果に関する説明書(知事公室)
- 11 随意・長期継続契約締結結果(知事公室)
- 12 部局別資料(土木交通部)
- 13 主要施策の成果に関する説明書(土木交通部)
- 14 随意・長期継続契約締結結果(土木交通部)